

佐賀圖書館第五年報

天正七年



始



27
31

佐賀圖書館第五年報

(大正七年)

278-38

libraries and Branch
library.



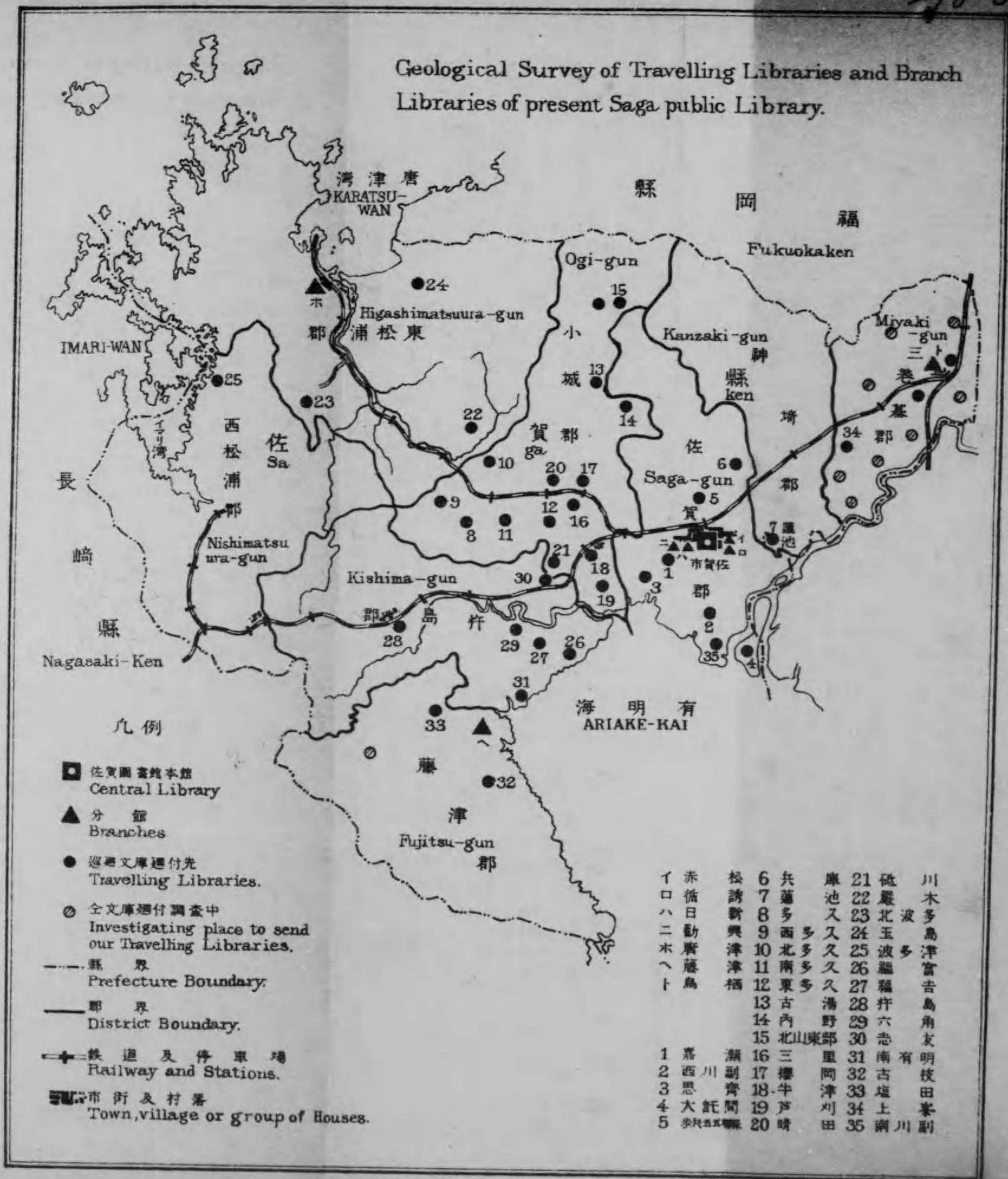
6	兵	庫	21	破	川
7	蓮	池	22	巖	木
8	多	入	23	北	多
9	西	久	24	玉	島
10	北	久	25	波	津
11	南	久	26	福	富
12	東	久	27	福	吉
13	古	湯	28	竹	島
14	內	野	29	六	角
15	北	部	30	志	友
16	山	里	31	南	明
17	三	岡	32	古	枝
18	櫻	津	33	壇	田
19	牛	刈	34	上	峯
20	芦	田	35	南	川

佐賀圖書館第五年報目次 (大正七年)

- 第一 沿革略.....一
- 第二 藏書.....二
- 第三 閱覽人及貸附圖書.....三
- 第四 分館.....八
- 第五 巡回文庫.....一九
- 第六 雜報.....二〇
- 第七 建物.....二三
- 第八 館員.....二七
- 第九 寄贈者芳名.....二七

附錄
法帖文房具展覽會出品者芳名、西比利亞出征帝國軍人慰問圖書寄贈者芳名

Geological Survey of Travelling Libraries and Branch Libraries of present Saga public Library.



- 凡例
- 佐賀圖書館本館
Central Library
 - ▲ 分館
Branches
 - 巡回文庫迴付先
Travelling Libraries.
 - ⊙ 全文庫迴付調査中
Investigating place to send
our Travelling Libraries.
 - 縣界
Prefecture Boundary.
 - 郡界
District Boundary.
 - ✚ 鐵道及停車場
Railway and Stations.
 - 市街及村落
Town, village or group of Houses.

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 嘉 | 2 西 | 3 恩 | 4 大 | 5 赤 | 6 松 | 7 赤 | 8 日 | 9 勤 | 10 新 | 11 津 | 12 藤 | 13 鳥 | 14 內 | 15 北 | 16 三 | 17 櫻 | 18 牛 | 19 芦 | 20 晴 | 21 庫 | 22 池 | 23 入 | 24 久 | 25 多 | 26 久 | 27 久 | 28 湯 | 29 野 | 30 東 | 31 里 | 32 岡 | 33 津 | 34 刈 | 35 田 | 川 | 木 | 多 | 島 | 津 | 宮 | 吉 | 島 | 角 | 友 | 明 | 枝 | 田 | 峯 | 副 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

第一 沿革 略

寄贈本

本館は佐賀市銅像園内に在りて鍋島侯爵家の設置維持に係り、大正二年十一月十日落成式を舉行し、翌三年二月十一日より開館したる公開圖書館とす、爾來大正六年末に至る迄四ヶ年間の沿革紀事は、既に發表の本館一覽並に各年報に掲載せるを以て之を省略し、爰に大正七年中の主要事項を概舉すれば即ち左の如し



大正七年四月十日、十一日、本館閱覽室に法帖文房具展覽會を開催す、出品人員二十五名、陳列品總點數二百三十三點にして兩日の來觀人五百數十名に達せり
又同月中佐賀市循議、勸興、赤松、日新小學校内に四分館を設置し同月十三日より公開す
同月七月十四日縣下三養基郡鳥栖町鳥栖尋常高等小學校内に鳥栖分館を設置し開館式を舉行す、但し此物公衆に對しては同月十一日より開館す



同年九月中館外借覽手續に改正を加へ同十一月一日より施行す
同年十一月中縣下藤津郡教育會に於て同郡鹿島町に新築の大典記念藤津圖書館建物を使用して藤津分館を設置し、同郡教育會と共同經營をなすの議を定め、十二月一日本館創立第五週年記念日をトシて(但流行性感胃の爲記念日十一月十日を本日に延期す)同建物落成式と共に開館式を舉行す

第二藏書

本年度末に於ける本館藏書数は和漢書一萬四千八百二冊、洋書四百一冊、合計一萬五千二百三冊にして内本年度増加の分は和漢書二千三百二十二冊、洋書二十八冊なりとす

大正七年和漢書……………一、三三二冊 内購入……………一、八九五冊
 増加圖書洋書……………二八冊 寄贈……………四五五冊 計……………二、三五〇冊

圖書分類統計

部門	題目	和漢書	洋書	書合	計	百分比
第一門	書目、事類、叢書、隨筆、少年圖書	一、二二三		六〇	一、二七三	八・三七
第二門	宗教	五四八		一三	五六一	三・六九
第三門	哲學、附教訓	一、〇〇一		一三	一、〇一四	六・六七
第四門	法律、政治、軍事	九二一		二二	九四三	六・二〇
第五門	社會、經濟、財政、教育	一、六〇四		五四	一、六五八	一〇・九一

第六門	文學、語學	四、一七〇	一五四	四、三二四	二八・四四
第七門	數學、醫學、理學	一、〇九一	四	一、〇九五	七・二〇
第八門	產業(農、工、商業)	一、二八三	二四	一、三〇七	八・六〇
第九門	美術、諸藝	六八二	一	六八二	四・四九
第十門	歷史、地理、傳記	二、二八九	五七	二、三四六	一五・四三
計		一四、八〇二	四〇一	一五、二〇三	一〇〇・〇〇

第三 閱覽人及貸附圖書

本年度に於ける開館日数は二百九十日、圖書閱覽人十二萬三千八百三十八人、一日平均四百二十七人二厘、新聞閱覽人三萬八千九百三人、一日平均百三十四人一分四厘にして之を前年に比し開館日數に三日を増し、圖書閱覽人總數二千五百七十七人、一日平均十三人二分四厘を減し、新聞閱覽人は總數に千二百六十八人、一日平均三人強を増せり、而して圖書閱覽人の減少は十月十一月に亘りて流行性感冒の蔓延により大打撃を受けたるに依る

貸附圖書冊數は十七萬四千四百八十九冊、一日平均六百一冊六分八厘一人平均一冊四分強にして前

大正三年二月開館ヨリ本年末ニ至ル閱覽成績比較表

Comparison by years from February 1914, to December 1918

	大正三年 1914	大正四年 1915	大正五年 1916	大正六年 1917	大正七年 1918
藏書 Number of Volumes in stock.	5,301	8,243	11,494	12,853	15,203
開館日數 Number of Days open.	262	292	289	287	290
閱覽人員 Number of Readers	37,711	70,905	126,821	126,355	123,838
同上一日平均 Daily Average.	31,047	40,051	39,676	37,935	38,903
貸附圖書冊數 Number of Books Read.	143,93	242,82	438,82	440,26	427,02
同上一日平均 Daily Average.	118,50	137,16	137,28	131,13	134,14
同上一日平均 Daily Average.	82,065	127,515	177,341	183,025	174,489
同上一日平均 Daily Average.	313.22	436.69	613.63	637.71	601.68

年度に比し總數に於て八千五百三十六冊、一日平均三十六冊三厘、一人平均一分弱を減したるは主として研究を目的とする來館人を増加し、濫讀者の漸減したる結果と観察せらるる外、巡回圖書の統計記入方を規整したるに依る、然して藏書數に對する貸付冊數の割合は十一冊五分弱に當れり、尙ほ詳細は卷末附表の如し

以上の圖書閱覽人及貸附圖書冊數を館内閱覽人及館外借覽人に區別したる結果左の如し

	館内圖書閱覽人 同上貸附圖書冊數	館外圖書借覽人 同上貸附圖書冊數
本館	二七、七〇八	五七、五七四
分館	一三、九八九	二二、三六四
巡回文庫	三七、二〇三	四〇、七〇〇
合計	七八、九〇〇	一二〇、六三八
一日平均	二七二・〇六	四一五・九九

尙本館開館第一年即ち大正三年より五ヶ年間に於ける本館のみの内外圖書閱覽人を類別すれば其割合左の如くなれり。

	大正三年	同 四年	同 五年	同 六年	同 七年
學 生	四九・四八	三六・五六	三一・五九	三三・四七	三四・五七
教育家、技師、牧師	二・五二	四・五七	四・四九	三・三七	二・七三
官公吏、軍人	四・九八	七・四五	一〇・三六	一二・七三	一一・二二
實業	一一・〇六	一九・三四	二二・〇三	二二・五六	二二・三二
無職	一八・九八	一九・五三	一八・三九	一七・二七	一四・九三
婦人	四・六九	三・九三	三・二〇	三・四九	三・八三
少年	八・二九	八・六二	九・九四	七・一一	八・四〇
少 年	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

又五ヶ年間に於ける貸附圖書の門別は其割合左の如し。

部 門	大正三年	同 四年	同 五年	同 六年	同 七年
第一門 書目、事案、叢書、隨筆、少年、圖書	一三・七三	一五・三五	一二・四三	八・三七	一〇・一〇
第二門 宗 教	一・三三	一・三〇	一・三六	一・三七	一・〇二
第三門 哲學、附教訓	四・一八	四・九四	五・一一	四・三六	四・一四
第四門 法律、政治、軍事	八・二三	八・五七	七・一五	七・九八	六・六二
第五門 社會、經濟、教育等	七・九三	八・三七	九・二〇	一〇・〇六	九・二二
第六門 文學、語 學	三四・二一	三一・六三	三四・一六	三七・〇四	四一・六七

第七門 工數、學、理、學	第九・九六	第九・八二	一〇・六二	九・二六	九・四一
第八門 産業(農、工、商業)	四・一五	四・八三	四・八四	五・〇一	三・七九
第九門 美術、諸 藝	五・〇六	四・七七	四・七九	五・〇六	四・〇四
第十門 歴史、傳記、地誌、紀行	一一・二二	一〇・四三	一〇・三四	一一・四九	一〇・一九
	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

次に館外借覽は本館に於ては集配人を特許證附與者の自宅に派出して圖書の集配交換を取扱はしむる施設に付き市内及隣接町村居住者に限り之を特許し、遺憾ながら未だ郡部に及ぼすこと能はず、而して本年度に於ける特許證附與者百六十二人、前年度來同證所持者三百四十九人、同證返納者二百六十一人差引計二百五十人にして之を前年に比し九十九名を減す、但し其原因は他に轉居者の多かりしと又借覽料徴收手数を省約する爲、在來の借覽圖書冊數の多少に關せず同料金拾錢均一を左記の如く改定したる結果による事多しと想はる、即ち

毎月分納者 金貳拾錢
 半ヶ年分前納者 金九拾錢
 一ヶ年分前納者 金壹圓貳拾錢

特許證附與者の減少したるに拘らず、其借覽圖書冊數は一萬六千五十九冊、一日平均五十五冊三分

七厘にして前年に比し冊數千七百六十三冊、一日平均約十六冊を増し、一人一ヶ月五冊三分強閱覽の割合に當れり

館外借覽特許證附與者職業別

	大正七年	大正六年	増減		大正七年	大正六年	増減
官公吏軍人	八六	一二二	三六減	教育家	七	一四	七減
僧侶牧師	三	三		技術家	七	七	
新聞記者	四	六	二減	醫師藥劑師	一一	一〇	一増
銀行會社員	三〇	五四	二四減	製造業	一〇	一二	二減
商業者	五七	六九	一二減	店員	八	四	四増
職人使用人	三	一一	八減	職員	二	八	六減
婦人	二二	二九	七減	合計	二五〇	三四九	九九減

第四分館

本年度に於ける分館の數は市内四館、郡部三館、計七館にして内六館は本年度の設置に係れり、今各館の閱覽成績を對比すれば左の如し

所在地	館名	開館年月	冊數	日開館數	閱覽人員		閱覽冊數	
					館内	館外	館内	館外
市内米屋町	勤興	大正七、四	六三	二四	一	六二	八四六	八四六
市内牛島町	循誘	同	六四	二六	一	六三	一、三〇九	一、三〇九
市内赤松町	赤松	同	六四	二六	一	六三	六四五	六四五
市内長瀬町	日新	同	六三	二五	一	六二	一、五八八	一、五八八
東松郡唐津町	唐津	大正四、十一	一、〇四	二五	一、四〇七	一、四〇七	一、五八八	一、五八八
浦郡三養部	鳥栖	大正七、七	三四〇	一七〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、五八八	一、五八八
三養部郡鹿島町	藤津	大正七、十一	四八四	三三	一、二二二	一、二二二	二、四〇〇	二、四〇〇
合計			四、五二二	一、五〇六	一、四三三	一、四三三	一、〇五八	一、〇五八
大正四年			四七四	三七	八七三	一	一、五八五	一、五八五
大正五年			七七三	二九六	五、三〇〇	一六九	一〇、八三九	一一、一四一
大正六年			九五七	二八七	四、四七三	四三三	八、七〇〇	九、四九九

一、市内分館

市内勸興、循誘、赤松、日新の四分館は前記の如く本年四月十三日より開館し未だ一週年に達せざれば其成績較著ならずと雖も附近居住者の便誼を増したるや疑なき事實なりとす、今其設置の動機に就き一言せんに、抑も本館は市の中央に位し圖書館の位置として既に最好適の定評あるも佐賀市は東

西一里餘、南北二十餘町にして帶の如く細長く、其東端西隅に居住する者よりすれば自然來館に感劫なるの憾なきに非ず、然るに若し附近に簡易圖書館若しくは閱覽所あらんか、是等市民は寸時の餘暇を利用して圖書に親むの機會を得べく、從て其讀書趣味の普及上に尠からざる影響あるを慮り、市當局に交渉して四小學校の一部使用を請ひ以て設置したるものとす

右に關し市より閱覽室費として若干金の贈與ありしは、一般市民の本館事業に賛意表明の徵證として深く感謝する所なり、但し各學校に於て閱覽室には平素餘り使用せざる教室を充用し、係員は教員中より専任者を定めて圖書事務を取扱はしめ、各學校長は之を主管せり

二、唐津分館

本年度唐津分館閱覽成績は前表の如く内外閱覽人員計七千九百十八人、貸付冊數一萬五千四百二十四冊にして之を前年に比し何れも約六割を増加せり、是れ同館主任者の努力に依ること多しと雖も一面閱覽人員の六割五分は學生、二割強兒童にして、他種閱覽人は僅かに二割五分に當れるより視るときは、圖書館の利用未だ一般町民に遍からざるの憾なき能はず

然して大正五年中大島小太郎、河村藤四郎、岸川善太郎の三氏が熱心なる斡旋盡力に依り岩城卯吉長谷川銚五郎の二氏より寄附の同分館用建物は前年報に記載の如く大正六年十二月中前記三氏に依て工事請負に附せられしが、時宛も建築材料及工賃の暴騰に際し、契約期限既に經過し三氏も大に焦慮

せられしに拘らず、春過ぎ夏去りて漸く同年十二月廿五日を以て竣工を告げたり、依て三氏は急速に寄附者を代表して唐津町に地所建物の寄附手續を了し、又同町にては町長田代保氏八年一月十日をトして盛大なる落成式を舉行せり

本館に於ては同町と分館に新築建物無償使用の契約を締結し、翌十一日より三日間休館し、館長落成式に引繼ぎ同地に滞在して移轉を行へり

三、鳥栖分館

縣下三養基郡鳥栖町は本縣東部の關門、九州線の分岐點にして所謂四通八達の要衝に當り、輓近戸口の數は歳と共に増加し、物質的方面の事物は較著の進歩をなせるに拘らず精神的方面の向上に至りては遅々として其跡を見ること少く、此兩方面の調和を保たしむるには地方民に讀書趣味を涵養して物質的方面の進歩助長と共に大に精神的方面の修養を爲さしむるは、現下の急務なりとの主旨を以て發起人總代鳥栖小學校長長谷部眞里氏より大正七年五月中同地に分館設置の交渉あり、本館に於ては之を諒とし、調査の上同月中之を當分鳥栖小學校内に設置することに決定せり

然して分館の組織に就き第一着に分館主管を長谷部眞里氏に、書記を同校教員時津勝美、江崎信道の兩氏に囑托し、豫算を編成して事務費は同校に於て補助金寄附金及其他の収入金を以て支辨し、圖書は全部本館より廻付することに協定し、同年七月十一日より閱覽を開始し、同十四日開館式を舉行せ

今當日の概況を記すれば午前十一時來賓一同式場に參列し伊東本館長の開式の辭あり、其大要は社會の大勢より圖書館の必要を縷述し其利用法等に及び、最後に地方人士の大に後援せんことを切望し次て大芝佐賀縣知事閣下、和田日本圖書館協會長の祝辭代讀ありて、今井三養基郡長、豊増前代議士、佐久間郡會議長、古賀郵便局長は鳥栖の地勢上より將た文教の發展上より圖書館設置の急務たることを演述し、以て分館の創立を祝福し、最終に祝電の披露ありて分館主管長谷部真里氏の閉式の辭を以て式を閉つ、斯くて一同は前年大演習の際畏くも 陛下の御駐泊を辱ふし奉りたる、同校内の御座所、御寢室を拜觀し、夫より質素の晝餐を共にして午後三時過ぎ退散せり、來賓は前記の外、知事代理瀬戸縣視學、諸隈佐賀市一科長、小佐々鳥栖稅務署長、稻元鳥栖署長、山本鳥栖驛長其他郡町會議員等數十名に及べり、又同分館の設置に就き同町松本モヨ子氏の卒先して基本金百五拾圓を寄附せられしは眞に篤志の至りにして此に特記して感謝の意を表す

同日の祝辭祝電等左の如し

祝 辭

佐賀圖書館鳥栖分館の設備成るを告げ本日をして開館の式を舉行するに方り聊か所懐を述ぶることを得るは本官の欣幸とする所也

抑鳥栖の地たるや東西交通の要路に當り加ふるに近年各種産業の勃興するに隨ひ、人烟年々共に賑ひ近く大都市たらんとするの

氣勢を示す此時に當り地方有志は佐賀圖書館と相謀りて此地に分館を設置し以て一般公衆の讀書趣味を涵養し智徳を進め風尚を高めんことを期するあり、洵に時宜に適せる美事にして邦家の爲め慶賀に堪へざる所、必ずや將來其發展の更に大なるものあるべきを信す

冀くは有識先覺の士先自ら之が利用の範を示し、館員と共に其施設經營上常に周到なる注意を拂ひ、適切なる方法を講究して巧に之を活用し、圖書館の眞價を充分に發揮するに努められんことを
大正七年七月十四日

佐賀縣知事從四位勳四等 大 芝 惣 吉

祝 詞

貴館鳥栖分館の開館を賀し其隆運を祈る

日本圖書館協會長 和 田 萬 吉

祝 電

開館ヲ祝フ

福岡縣立圖書館長 伊 東 尾 四 郎

地方文化ノ速度計ハ圖書館ナリ其速度計ノ貴地ニ表ハシタルハ喜ブヘシ、今後ノ御發展ヲ祈リ開館ヲ祝ス

鹿兒島縣立圖書館長 片 山 信 太 郎

鳥栖分館ノ開館式ヲ祝フ

佐賀圖書館主 侯爵 鍋 島 直 大

開館式ヲ祝シ發展ヲ祈ル

佐賀圖書館顧問 伊 東 祐 毅

四、藤 津 分 館

藤津分館は縣下藤津郡鹿島町高津原字柏に在りて大正七年十一月中の設置に係れり

是れより前き藤津郡教育會に於ては其事業の一として大典記念藤津圖書館の建設を企劃し伊東本館長の計畫及び設計に依りて同年四月工事に着手し、十月中竣工し、同時に諸般の準備器械器具の裝置を終はれり、然して工事竣成の上は同建物を分館設置に使用し郡教育會と共同にて之を經營する協約に付き同年十二月一日同建物の落成式に併せて開館式を舉げ同月三日より公開せり

開館式當日は午前十一時煙火の發揚を合圖に館前廣場に於て式は執行されたり、先づ早田郡教育會頭の式辭、橋本副會頭の工事報告に次で、伊東本館長の式辭、大芝縣知事閣下の祝詞代讀、日本圖書館協會總裁徳川侯爵及鍋島侯爵兩閣下の祝電披露、鍋島子爵閣下の祝詞に次で梅崎郡會議員總代、齋藤町長の祝辭及び伊東福岡縣立圖書館長、佐賀圖書館顧問伊東祐毅氏の祝詞代讀あり、最終に日本圖書館協會會長和田萬吉氏、熊本、鹿兒島、宮崎、各縣立圖書館長等の祝電披露ありて十二時半式を閉づ、夫れより來賓其他一同は郡教育會より公會堂中正閣に案内を受け折詰壘酒を饗せられ二時退出す、當日の來賓は縣知事代理中野縣視學を初め同地方各方面の人々を網羅し又郡教育會員は二百數十名出席せり

同日の祝詞祝電は左の如し

式 辭

閣下諸君、今回藤津郡教育會を提携して當鹿島町に佐賀圖書館分館藤津圖書館を創設し本日をして開館式を舉行するに至りしは諸君と共に寔に御同慶に堪へぬ所でありませり

當分館の設置に關しては教育會幹部諸君の御盡力並に鍋島子爵閣下の御誘掖と全郡下官有志各位の御贊助との多大なりしは申す迄もなく、原田前々任福地前任郡長も考慮を費され、最終に早田現任郡長即ち郡教育會頭の熱誠なる御努力に依りて今日の盛典を観るに至つた次第にて爰に先以て是等の諸君に對し我佐賀圖書館を代表して深厚なる感謝の意を表します

當館は佐賀圖書館分館と稱しますが、佐賀と御當地とは十數里を隔で、鐵道軌道の便あるに拘らず、建設事務に日夕從事は不可能のため唯た僅かに組織、設計、設備の考按、圖書の備付等一部分の事を分掌しましたる外、建築工事の監督を初め本日開館式の準備に至りますまで一切を教育會幹部諸君にお願ひ致したる次第でありますから、諸君の御心勞御奔走は容易でなかつたこと存じ是又謝意を表します

併し教育會頭を初め幹部諸君が今回の御盡力は無禮ながら夙に圖書館の教育上必須の機關たる事を認められ、率先して郡内を初め縣下に其普及を圖られんとする御熱心の實證に外ならずと信じます、又縣内各地より當館の誕辰を祝福され前途の發達に囑望せられて斯く多數に御参列なりましたのも、既に今日の圖書館は昔時の保藏主義の夫れとは異なつて人格を高め、智識を廣め、應用力を磨く、各人自己の修養を積む一種の學校たりとの觀を把持し、同時に學校教育は唯其輪廓を造るに止まりて眞の修養は學校を出でたる後に於て益々緊要を増すと云ふ眞理を御諒解ある方々と見受ます、則ち彼と言ひ此れと申し甘して圖書館事業に同情を寄せらるゝ後援者を得たる譯でありますから、當館將來の進展に於ても大に期待せらるゝ次第であつて眞に欣快の至に堪へません

今や世界の大戰終熄し平和の曙光方に新たに、向後世道人心に一大變動を與へんとするの秋に臨むんで、民衆の大學、知識の府庫たる圖書館の大典記念として成立を告げましたのは最も時代の要求に順應したる高尚の美舉として本郡、本縣のみならず、社會文教の發展上大に祝すべきであります、然れども教育機關中に於て圖書館の効果は最も普遍的で又最も間接的でありますから一朝一夕に現るべき限りで無い、而かも其目的とする所は至大至高なれば假令へ急速に効驗が期し難しとするも永久に之に忠にして幾年かに亘りて之が貫徹に勵精努力せざるべからずと信じます、幸に諸君の此意を諒せられて當館の前途を御覽あらんことを願ひます之を以て式辭と致します

大正七年十二月一日

佐賀圖書館長 伊 東 平 藏

祝 詞

藤津郡教育會の設置に係る大典記念圖書館建築工事成るを告ぐ、茲に本日をして開館式を舉行するは本官の欣ぶ所なり、今や

時勢の進運は國民の自修を促し其智徳を増進するの急務なるの秋に方り、本館の設置を見たるは詢に時宜に適せる美舉にして邦家の爲慶賀に堪へざる所なり、願ふに圖書館の經營は容易の業にあらず、之を時勢の趨向に鑑み之を地方の實情に徴し能く其効果を擧げんとする、必ずや徹底せる見識と精到なる工夫とに策めるに不撓の努力を以てせざるべからず、冀くは宜しく思を茲に致し施設經營其の宜しきを制し、能く一般公衆をして之を活用するに至らしめ大に地方文教の興隆に貢獻し以て大典記念の趣旨を空くせざらんことを

大正七年十二月一日

佐賀縣知事從四位勳四等

大

芝

惣

吉

祝詞

藤津圖書館の經營功を竣り茲に本日を卜して開館の式を擧ぐるに當り、直繩亦た其の班に列するは寔に欣喜に堪へざるなり、夫れ文化の消長は國運の隆替に關するや實に重大なり、輒近都鄙の別なく競ふて圖書館を設け讀書趣味の普及を計り、以て國運發展の資に供するは洵に喜ぶべき現象なりとす、古來我郷の文運は他に比して敢て遜色なかりしは夙に世間の認識せし處なりと雖も然れども未だ圖書館設立の機會を得ざりしは直繩常に遺憾せし處なり、今や氣運方に熟し屋宇已に成り所藏棟に充てり、今より以往一郡の民斯館に出入し益々讀書の趣味を涵養せば、地方の風教と國家の文化とを裨補する豈に鈔なしとせんや、此に一言を陳して祝詞に代ふ

大正七年十二月一日

子爵

鍋

島

直

繩

祝詞

藤津分館成るを告ぐ、佐賀圖書館は曩に唐津島栖の二分館を設立せしが今又藤津分館を設立して益斯道の發達を圖らんとす、惟ふに我邦の普通教育は其發達顯著なるもの無きにあらずと雖も社會教育の要素たる圖書館事業に至りては尙未だ草昧時代にあるを免れず、之を彼の歐米諸國の學校と圖書館とを相並行せしむる觀あるに比すれば實に霄壤の差ありと云はざるべからず、然るに佐賀縣が佐賀圖書館を中心として漸次分館の數を増すはこれ圖書館事業發達の微證にして社會教育の爲め最も慶賀せざるべからず、我輩隣縣にありて圖書館事業に従事するもの、藤津分館の成立を開きて欣喜の情禁する能はず、爲めに一言を寄せて祝意を表す

大正七年十二月一日

福岡縣立圖書館長

伊

東

尾

四郎

祝詞

宇内劍戟の間に相見ゆる茲に五星霜、而も今や平和の曙光輝きて全世界の大亂將に休戦を告げ平和漸やく克復の域に達せんとするの秋、本日茲に當分館の開館式を擧げらる實に慶賀の至りなり、惟ひるに佐賀圖書館は開叟公御銅像建設の記念として大正二年十一月十日鍋島侯爵閣下の御設立に係り、同四年十一月十日御大典記念の日には唐津分館を建設し、爾來不肖佐賀圖書館長として昨年迄其職に在りしが、今や本日を以て當分館の開館を見んとするに當り祝文を小生に求めらる、余の光榮又何を以てか之に如かんや、當分館の建設に關しては前原田郡長を始めとし郡教育會其他有志諸君と計畫を起し、茲に目出度其の開館を告ぐ、眼を轉すれば今や大戦既に休止す、而も今次の勝利たるや眞に正義、人道、財力、及び教育の差違に俟つもの至大にして茲に於て、教育の緊要轉た吾人の感得せざるを得ざるなり

抑も圖書館界に於て分館の必要及び効用の切實なるを認めらるゝは今更喋々を要せざる所なるが圖書館事業を補ふに最も必要なる代理者三あり、第一、分館(Branch library)第二、配置所(Distributing station)第三、配本所(Delivery station)即ち是なり今日世界圖書館に於て最も整備發達せるものは米國とす、同國にては二十餘年前より以上三種の補助機關に就きて種々研究經驗の結果、三者の内一、二或は三を採用するもの多し、第一の分館式を採用し發達の顯著なるものは「フ井ラデルフ井ヤ」の自由圖書館とす、第三の形式を採用し最も發展せるは「シカゴ」及び「ジャージー」市公共圖書館とす、第一及第三の式を採り最も著名なるは「ホストン」及び「ピッツバーグ」の圖書館とす、第二に關しては各館大抵之れを採用せるが故に特に之を記述するの必要を見ざるなり、本邦に於ける圖書館中分館制度の創始は唐津圖書館を以て嚆矢とす、而して分館の名目なくして事實上分館制度を採用せるは東京市立日比谷圖書館とす、同圖書館は市内二十有餘の小學校に小圖書館を分置し圖書集配に關して分館の効用を大に發揮せるが、其他に全國中未だ分館制度を採用せるを見ず、第二の配置所は所謂巡回文庫の名目の下に東西を通じて採用行使さるゝ所なり、斯くて福岡縣立圖書館は最近の設立に係れるが巡回文庫制度擴張に全力を盡して餘蘊無きが如し、第三の配本所は佐賀圖書館に於て館外貸出を以て之に當つ、而して圖書集配人を各個人の居所に派出して圖書の集配引換を行はしめつゝあり、此の制は全國中他に類例なく實に佐賀圖書館の一大特色なりとす、依つて當分館にも此圖書集配制を採用し之を全國に普及せられん事を冀ふ余此の式場に列せんを欲するも能はず微か所見を述べて祝詞に代ふ

大正七年十二月一日

佐賀圖書館顧問

伊

東

祐

毅

祝詞

茲に我等藤津圖書館の開館式に列し一言衷心の祝意を表せん、今や世界的大戰亂は正に終熄を告げて時代は茲に一新生面を開き各方面に亘りて所謂緊張洋瀾すべき事項尠からず、雖も教育の振作は最も留意すべきところにして殊に社會教化はその中堅と稱すべき重大なる事項たるは敢て茲に暇を要せざるころなるべし、此時に當り我が郡教育會、御大典記念として郡民一般の熱誠なる援助の下に、茲に光榮ある開館式を舉行せられたる寔に時勢の要求に適合せる通俗的教育事業として我等の最も喜ぶところなり、かくて郡民一般の知徳修得上、得る所は亦尠からざるべしと信す、いさゝか蕪辭を述べて祝辭に代ふ

大正七年十二月一日

郡會議員總代 梅崎繁馬

祝詞

藤津圖書館新築工を竣へ本日をして開館式を擧ぐる、小職等其席末に班するを得たるは誠に光榮とし欣喜に堪へざる所なり、抑も教育の機關一にして足らずと雖も就中學校教育と相待て社會教育上最も有効適切なるものを圖書館とす、圖書館は遍く百科の圖書を蒐集し公衆の閱覽に供し、各自の需要と嗜好とに應じ研究の資料を與ふると、同時に廣く智識の普及に貢獻するものなるを以て若し學校の發達と共に圖書館の設備之に伴はざらんか、國家教育機關は當に完全なりと云ふを得んや、我郡教育會茲に見るありて本館設立の計畫をなし、有志諸氏も亦其必要を感じ協力以て之が完成を告げたるは誠に幸慶とする處なり、庶幾は郡内の人士宜しく本館を利用し、以て研鑽の資に供せられん事を、聊か所感を陳て祝詞に代ふ

大正七年十二月一日

鹿島町長 齊藤壽吉

祝電

藤津圖書館の落成を祝し將來の隆盛を祈る
日本圖書館協會總裁 侯爵 德川 頼倫
開館式を祝す
侯爵 鍋島 直大
貴館の開館を祝し其隆運を祈る
日本圖書館協會會長 和田 萬吉
藤津分館開館を祝す
熊本縣立圖書館長 中津 親義
戦後の日本は圖書館を指針として發展すべし、喜び祝すべきは貴館の開館
鹿兒島縣立圖書館長 片山 信太郎

落成五週年記念分館の開館を祝し隆盛を祈る
圖書館の設立を祝し發達を祈る
開館式を祝す
開館を祝す

宮崎縣立圖書館長 山内 卯太郎
佐賀縣立師範學校長 太田 秀穂
鍋島侯爵家内庫所 岡部 瑾一
島酒分館主管 長谷部 眞里

第五 巡回文庫

本年度に於ける巡回文庫廻付の縣下町村立私立圖書館數三十三館及歩兵第五十五聯隊の一ヶ所に於て其開館日數等左の如し

- 開館日數 延へ六千九百十九日
- 廻付庫數 八十九文庫
- 廻付冊數 五千七百二十冊
- 閱覽人員 七萬壹千五十八人
- 貸付冊數 七萬七千五百八十五冊

之を前年に比し館數に四館を増し、開館日數に五百六十四日を減じたるは夏期、學校の休暇と共に休館し又流行性感胃のため休館したるもの尠からざりしに依る、從て廻付冊數五百四十四冊増加したるに拘らず、閱覽人員一萬千七百二十六人、貸付冊數一萬六千五百七十七冊を減じたるは甚だ遺憾なり

とす、本年の如き流行病に基く休館は公衆の衛生上止を得ずと雖ども休祭日殊に夏期學校休暇の時の如きは努めて開館して一般公衆を避暑にかねて讀書に親しましめ、眞摯に、敏活に、規則正しく當事者の經營あらんこと切望の至に堪へざるなり
 尙ほ各館の状況は別表統計に示すが如し

第六 雜 報

佐賀縣圖書館研究會 大正七年八月十九日午後六時より本館閱覽室に於て同會第三回總會を開催す
 來會者は豊増前代議士、中野縣視學、長谷部鳥栖分館主管を初め縣下各通俗圖書館長及事務員三十三名にして伊東委員長の開會の辭及簡易圖書館設立の必要並に其方法に就ての講演、中野縣視學の圖書館に關する所感の演説あり、夫れより協議會に移りて伊東委員長座長席に就き、會則中「毎年夏期に一回總會を開き」の夏期の二字を削除し「毎年一回總會を開き」と改定の件、各郡視學、市學務主任書記を委員に推薦する件、縣下各通俗圖書館に對し新に入會を勧誘する事、巡回文庫の發着を嚴にし澁滞なきを期する事等を議決し、次て縣下に通俗圖書館を普及なさしむる方法に就て協議し、未設置の小學校、青年團等に勧誘すると共に其方法並に手續等を周知せしむる事に決し午後十時散會せり
 同會會員は目下六十三名にして委員の氏名は左の如し

東松浦郡	嚴木村	私、縣北	計
	北波多村	私、縣北	
	玉島村	村、御四	
	二十一ヶ村	四	
杵島郡	西浦松郡波多津村	私、波	計
	福富村	私、福	
	福治村	私、福	
	武雄町	私、杵	
	六角村	私、六	
藤津郡	佐留志村	私、通南	計
	南有明村	私、南	
	古枝村	私、古	
合	古鹽村	私、鹽	計
	鹽田村	私、鹽	
大正	六	年	
大正	五	年	
大正	四	年	

備考、表

巡回文库統計(大正七年)

所在地	館名	開館年月	廻付箱數	廻付冊數	開館日數	閱覽人員			閱覽冊數			
						館内	館外	合計	館内	館外	合計	
佐賀郡	嘉瀬村	私、嘉瀬通俗圖書館	大正四、二	3	185	362	4,393	517	4,910	4,451	523	4,974
	西川副村	私、西川副村青年會通俗圖書館	大正四、一二	3	184	308	6,282	8,142	14,424	6,285	8,140	14,425
	久保田村	私、思齋通俗圖書館	大正四、一二	3	187	255	3,679	2,391	6,070	3,978	2,171	6,149
	大詫間村	私、大詫間村青年會圖書館	大正五、四	3	197	227	139	447	586	134	453	587
	高木瀬村	步兵第五十五聯隊	大正五、七	1	258	150	2,508		2,508	2,630		2,630
兵庫村	私、兵庫村青年會通俗圖書館	大正五、五	4	254	120	1,308	566	1,874	1,306	568	1,874	
神崎郡	蓮池村	私、蓮池青年文庫	大正四、一	3	182	292	1,036	1,390	2,426	2,020	1,823	3,843
小城郡	多久村	私、多久通俗圖書館	大正七、四	2	97	64	76	143	219	91	162	253
	西多久村	私、西多久村青年團圖書館	大正四、四	3	142	264	78	1,894	1,972	3	1,969	1,972
	北多久村	私、北多久通俗圖書館	大正四、五	3	144	162	2,248	1,081	3,329	2,511	1,291	3,802
	南多久村	私、南多久圖書館	大正四、六	3	141	220	651	938	1,589	651	1,020	1,671
	東多久村	私、東多久通俗圖書館	大正四、八	3	179	275	330	643	973	509	901	1,410
	南山村	私、古瀧通俗圖書館	大正四、一〇	3	146	202		439	439		439	439
	南山村	私、内野通俗圖書館	大正四、一〇	3	140	354	1,621	935	2,556	2,276	1,602	3,878
	北山村	私、北山東部圖書館	大正四、一一	1	47	133		552	552		556	556
	三里村	私、三里青年團圖書館	大正四、一一	3	143	318	388	1,010	1,393	549	1,338	1,887
	小城町	私、櫻岡通俗圖書館	大正四、一二	2	93	70	1,574		1,574	1,574		1,574
郡	牛津町	町、牛津圖書館	大正五、一	3	186	312	589	491	1,080	709	596	1,305
	芦刈村	私、蘆刈青年團圖書館	大正五、二	2	106	262		936	936		904	904
	晴田村	私、晴田通俗圖書館	大正四、一一	3	184	151	84	462	546	45	989	1,034
	砥川村	私、砥川通俗圖書館	大正四、一二	3	167	199	1,607	300	1,907	1,608	298	1,906
東松浦郡	嚴木村	私、嚴木通俗圖書館	大正四、一〇	3	187	263	662	398	1,060	662	403	1,065
	北波多村	私、北波多圖書館	大正五、一一	3	180	128	264	339	603	320	447	767
	玉島村	村、御大典紀念玉島村圖書館	大正六、六	3	185	226	22	1,000	1,022	74	1,166	1,240
西浦松郡	波多津村	私、波多津圖書館	大正五、六	3	163	172		628	628		620	620
杵島郡	福富村	私、福富文庫	大正三、一一	4	245	242	1,835	1,845	3,680	1,964	1,966	3,930
	福治村	私、福吉通俗圖書館	大正四、九	3	183	262	1,460	848	2,308	1,451	860	2,311
	武雄町	私、杵島圖書館	大正五、二	4	250	267	911	17	928	1,208	22	1,230
	六角村	私、六角圖書館	大正六、一二	3	172	275	2,706	2,201	4,907	2,706	2,101	4,807
	佐留志村	私、通俗志友文庫	大正七、九	1	50	61	342	206	548	342	206	548
藤津郡	南有明村	私、南有明通俗圖書館	大正七、一二	1	51							
	古枝村	私、古枝村青年團圖書室	大正三、一二	3	192	318	561	717	1,278	765	997	1,762
	鹽田村	私、鹽田通俗圖書館	大正七、一二	1	62	5		15	15		15	15
合計		34		89	5,720	6,919	37,349	33,709	71,058	40,822	36,764	77,586
大正六年		31		85	5,176	7,483	42,989	39,795	82,784	46,438	47,665	94,103
大正五年		26		72	4,204	5,774	39,515	40,960	80,475	39,879	40,745	80,624
大正四年		16		34	2,316	2,150	9,783	19,315	29,098	12,116	23,297	35,413

備考、表中館名欄に於て「私」・私立「町」・町立「村」・村立ノ記載



佐賀縣會建議案 同年十二月七日佐賀縣會に於て本館巡回文庫の件に關し左記の建議案提出なり満
場一致を以て可決せられたり

建議案

佐賀圖書館の縣内各町村に廻送する巡回文庫の費用を支辨する爲、大正八年度より相當金額を支出せられん事を要望す、右費用
支出の方法は參事會に一任す

右建議す

大正七年十二月七日

議長 中ノ子 徳太郎

知事 大芝 惣吉 殿
理由

鍋島侯爵家經營の佐賀圖書館の爲縣民其恩澤を蒙る頗る大なり、而して圖書館の効用を完からしむるには各町村に於ける巡回文

庫を普及せしむるに在るを以て其費用を支辨するの必要あるに依る

提出者

船津常六
石井次郎
山内喜兵衛

出征軍人慰問圖書 本年十月中日本圖書館協會に於て西伯利亞出征帝國軍人の勞苦を慰するため全國會員を初め一般公衆より圖書雜誌を募集して之を寄贈する計畫に關し、九州支部に於ては小倉第十二師團出征中に付き本部に輸送の手續を省き、募集の上は直接同師團司令部に寄贈することとして目下同支部事務所たる本館に於て募集に着手し、十一月末を以て締切り荷造を了して留守第十二師團へ寄附願を提出し、十二月廿一日付を以て認可書到達したるに付き直ちに發送したるが、各方面の同情意外に多大にして左表の如く募集の圖書雜誌合計三千六百十八冊の多きに達し、外に現金三十四圓九五錢を受領す、但し現金は適當と認めたる圖書の購入及び荷造費運送料に充用せり、寄贈品の種類及芳名は附録に掲げたるが如し

縣別	圖書數	雜誌數	計
長崎	一〇七	六一四	七二一

福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿児島	合計
一	一〇	六八〇	九	一	四四	八五〇
三六	三〇	一、七一二	一	一八六	一九〇	二、七六八
三六	四〇	二、三九二	九	一八六	二三四	三、六一八

右に對し留守第十二師團長より伊東九州支部長宛にて感謝狀到達す即ち左の如し

感謝狀

今回西伯利亞派遣軍人ニ對シ和洋圖書八百五拾冊、雜誌貳千七百拾八冊ヲ御寄贈相成候段茲ニ謹テ謝意ヲ表ス

留守第十二師團長

大正八年一月十五日

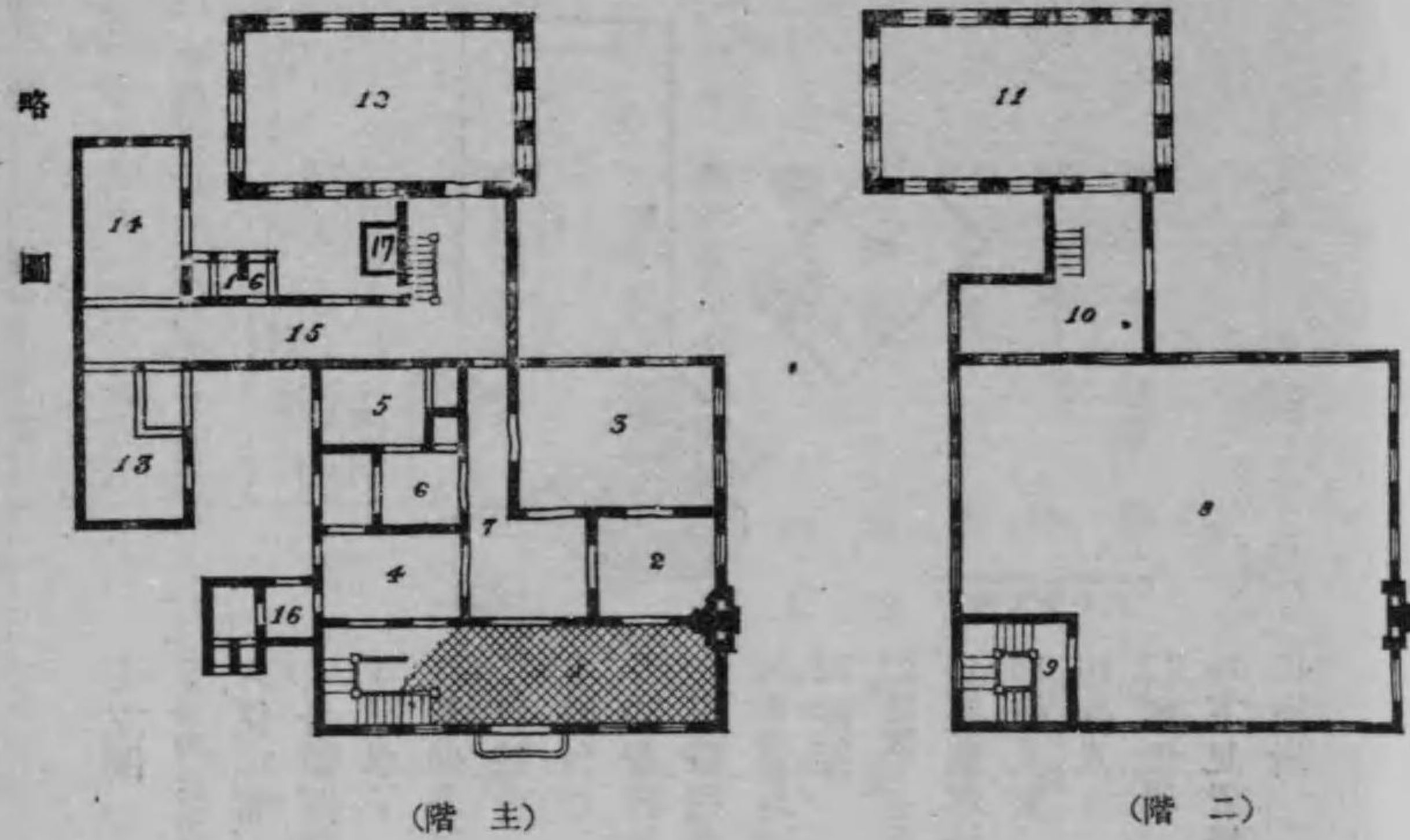
陸軍中將正三位勳一等功三級

仙波太郎

第七 建物

本館佐賀圖書館は佐賀市銅像園内にありて大正二年五月十五日起工し同年十一月五日竣成す、建物

佐賀圖書館平面圖



符號	室名	坪
1	玄關及新聞室	一四・〇〇
2	迎賓室	五・〇〇
3	事務室	八・七五
4	閱覽人休憩室	三・七五
5	宿直室	三・五〇
6	內玄關電話室	四・〇〇
7	廊下	六・五〇
8	閱覽室	四〇・五〇
9	階段室	五・〇〇
10	渡廊下	五・〇〇
11	書庫三階	一五・〇〇
12	書庫一階	一五・〇〇
13	製本室及小使室	五・〇〇
14	少年室	五・〇〇
15	渡廊下	九・〇〇
16	便所二ヶ所	三・五〇
17	物置	二・〇〇

二五

は主館一棟、書庫一棟、附屬家二棟より成りて間口四十二尺、奥行七十五尺、建坪七十八坪とす
 主館は木造塗家スレート葺き洋式二階建にして地盤より軒までの高さ三十尺、面積四十五坪五合、
 書庫は木骨煉瓦造、瓦葺き三階建にして主館の北方に位し、軒の高さ地盤より二十七尺、東西三十尺、
 南北十八尺、面積十五坪、附屬家は平家建十七坪五合にして書庫を除き、男女閱覽室、閱覽人休憩室、
 事務室、迎賓室、小使室等を主館及附屬家に配置す

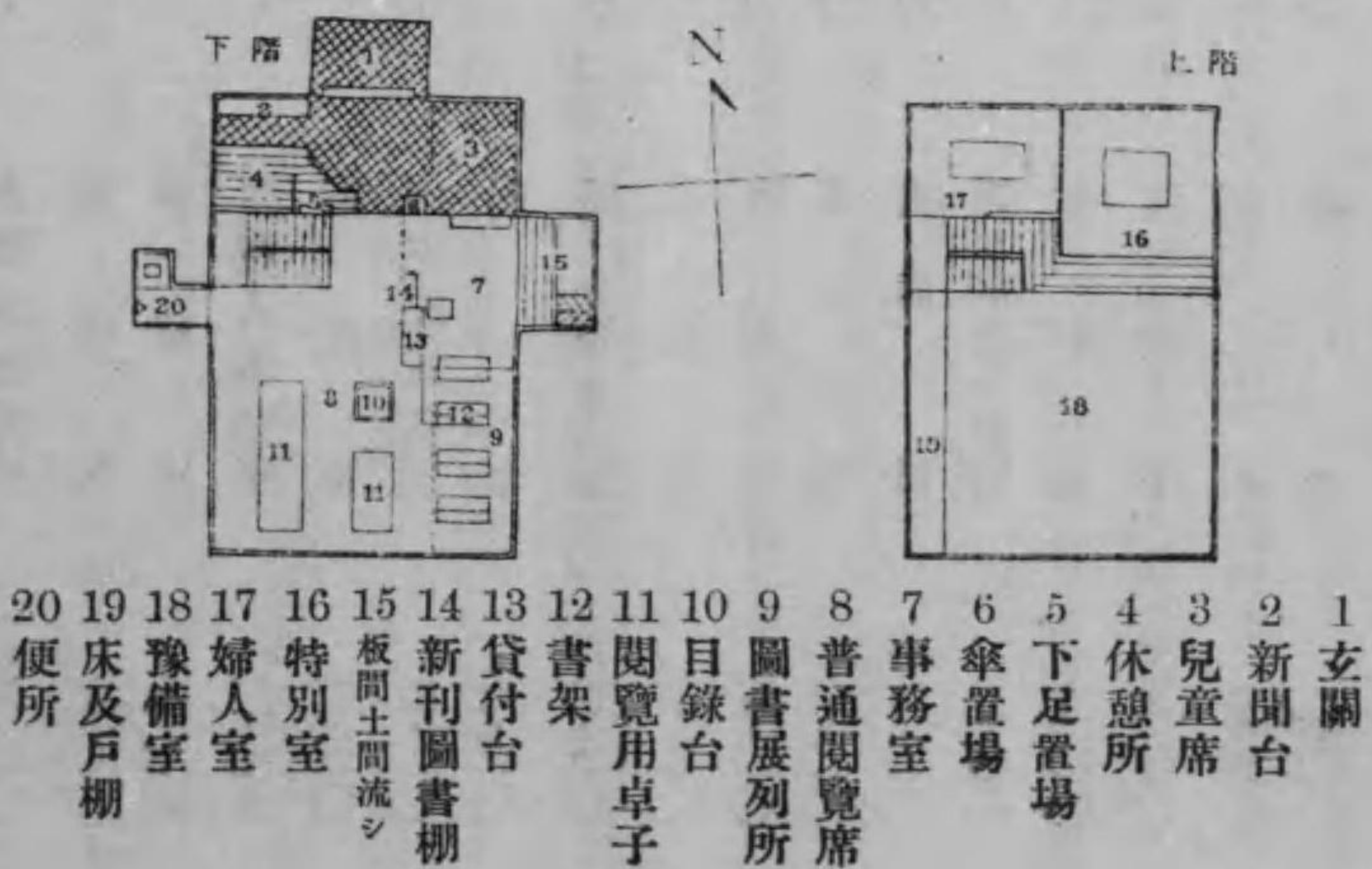
二四

唐津分館は同町小字大名小路に所在し敷地三百七十八坪、建坪三十七坪七合五勺、内二階建六坪に
 して主館一棟、附屬一棟、木造塗家瓦葺き洋館とす、階上を疊敷になし婦人室に充當したる外、普通、
 特別閱覽席を初め其他を總て階下に配置し、一人にて全館を能く管理し得べき構造になせり、而して
 收容人員は普通閱覽人二十四名、特別同四人、婦人同四人、兒童八人、新聞閱覽人六人計四十六人に
 して又建築費は受負代金參千四百四拾圓、附屬工事費百七拾四圓、計金參千六百拾四圓を要せりと
 藤津分館も木造塗家瓦葺き洋館にして建坪二十七坪三合、内二十四坪は總二階にして階下に普通閱
 覽人十八人兒童六人新聞閱覽人四名の座席を設け、階上には婦人室三坪四人、特別閱覽室四坪四人、豫
 備室十四坪を配置して總て疊敷となし、來館人の便誼と管理上の利便とを目的として構想したる點に
 於ては唐津分館と異なる所なし、尙ほ敷地は三百餘坪にして建築費參千七百拾四圓、設備品費參百五拾
 圓なりとす

佐賀圖書館唐津分館略圖



佐賀圖書館藤津分館略圖



第八 館員

館主	侯爵 鍋島直大
館長	伊東平藏
司書	鍋島哲雄
司書補	永田義彦
書記	山本乙枝
事務員一名、出納手四名、装釘工一名、館丁二名	
顧問	伊東祐毅

第九 寄贈者芳名

勸興分館主管	倉富半三
循誘分館主管	中原勇藏
赤松分館主管	濟木庄八
日新分館主管	西川利八
唐津分館主務員	山岸厚徳
鳥栖分館主管	長谷部眞里
鳥栖分館書記	時津勝美
鳥栖分館書記	江崎信道
藤津分館主務員	市原丑之助

表す

本年中圖書雜誌新聞紙を寄贈せられたる大方篤志家諸氏の芳名を此に列挙して深厚なる感謝の意を

川野竹一郎君	國柱新聞	三〇	通俗悟道會	三二
北原種忠君	皇道	七	帝國地方行政學會	一〇
健全之日本社	健全之日本	一二	東京書籍商組合事務所	二
佐賀縣知事官房	海の世界	六	東京統計協會事務所	一二
同	殖民公報	六	統計學社	一二
佐賀縣教育會	佐賀縣教育	一二	東洋協會	四
史蹟名勝天然紀念物 保存協會	史蹟名勝天然紀念物	一三	特許局	六一
試窓會	試窓(改題)農友	三	同	二八
白木屋吳服店	白木タイムス	一二	同	四一
心靈哲學會	心靈界	七	名古屋通俗圖書館	一二
少國民修養會	日本少國民新聞	三	南洋協會	一二
大日本蠶絲協會	大日本蠶絲協會々報	七	日本貿易協會	一二
大正社	大正之美術	三	日本陶磁器時報社	一二
大正時報社	大正時報	一七	日本印刷會社	一二
筑豊石炭鑛業組合	筑豊石炭鑛業組合月報	一二	日露協會	二

博文館	中學世界	一五	森善三君	九州醫藥新報	九
同	太陽	一四	山野樂器店	月刊樂譜	六
同	淑女畫報	一二	養鷄園藝社	養鷄と園藝	九
滿蒙研究會	滿蒙研究會彙報	一二	養蜂界社	養蜂界	一二
三越吳服店	三越	五	藤田多賀君	有恒	一
牟田口保田郎君	臺灣教育	一二	ローマ字ひろめ會	ローマ字	一二
老溪會	教育	一二			

新聞

伊東祐毅君	報知新聞(唐津分館)		神戸又新日報社	神戸又新日報	
唐津日日新聞社	唐津日日新聞		九州新聞社	九州新聞	
關門日日新聞社	關門日日新聞		西肥日報株式會社	西肥日報	
佐賀新聞社	佐賀新聞		佐賀毎日新聞社	佐賀毎日新聞	
長崎日日新聞社	長崎日日新聞		日州新聞社	日州新聞	
肥前日日新聞社	肥前日日新聞				

附 錄

法帖文房具展覽會出品者芳名 (五十音順)

各位の後援に對し此に芳名を収録して謝意を表す

- 中村梧竹翁筆大小九本外遺物五點
- 管茶山書外幅法帖七點
- 法帖小谷燕齋書後赤壁賦 外七點
- 集古浪華帖一點
- 梅花書屋幅外一點
- 筆筒黒地蒔繪底ニ椿屋之銘、中村梧竹翁筆、草稿控等外四點
- 古賀精里書簡手本船山書外一點
- 淳化法帖十卷二王法帖二卷外圖書、文房具等十七點
- 法帖真草千字文唐僧智求書外法帖圖書三十一點
- 法帖岳飛書弔古戰場記外三點
- 古川松根翁常用ノ文臺蠟色梅鶯蛙蒔繪 外二點

石丸勝一君
 伊東平藏君
 江頭幾三郎君
 太田徳一郎君
 大野北山君
 熊谷廣濟君
 黒田龍吉君
 古賀保臣君
 佐賀圖書館
 清水林吾君
 杉野良吉君

- 文鎮一組五個外硯、幅、四點
- 唐李太白書石摺外法帖印譜軸物十七點
- 閑叟公御夫人ノ手蹟筒井肥前守畫幅外軸物五點
- 軸物外一點
- 鎧武者百體一幅外帖、硯、雅印十六點
- 元李雪菴法帖。永原遠江守永運筆伊勢物語外軸物文房具等九點
- 古川松根翁短冊外幅折手本六點
- 長恨歌文徵明書外法帖圖書等四十三點
- 唐摺疊層樓帖十二卷一點
- 硯支那タンケイ産一點
- 法帖赤穂義士卷物外一點
- 硯一點
- 筆筒故成富椿屋遺物一點
- 掛軸副島種臣書 一點
- 子昂書外一點

千住武次郎君
 高木輝盛君
 田中俊造君
 堤恭倫君
 鶴清氣君
 中島雅明君
 永田義彦君
 中野五郎君
 鍋島侯爵家内庫所
 西村萬次郎君
 原田貞子君
 光石金吾君
 宮部櫻僊君
 百崎勝助君
 横尾義勇君

三體詩草場船山書外折本四點

吉岡美標君

西比利亞出征帝國軍人慰問圖書寄贈者芳名 (通常、特別會員トアルハ)
日本圖書館協會同會員)

長崎縣

石原 爲雄君	二二三冊	福島 惠次郎君	三七冊
沖 莊藏君	三二冊	藤島 甚次郎君	三冊
奧田 啓市君	三冊	松尾 利信君	一冊
久木 崎時義君	二冊	松 永 昂君	一冊
篠田 周次君	六九冊	松本 茂八郎君	五冊
長崎市東分會	三九冊	宮本 茂三郎君	四冊
帝國在郷軍人會			
特別會員			
永山 時英君	五〇二冊		

福岡縣

福岡縣立圖書館 三六冊

大分縣

大分市福澤紀念圖書館 四〇冊

佐賀縣

佐賀市

青木 廣君	八冊	御所辰一郎君	一冊
伊丹 誠一君	一〇〇圓	坂井 房市君	三冊
伊丹 彦次郎君	一〇〇圓	坂口 常太郎君	一〇〇圓
伊丹 彌太郎君	三〇〇圓	佐賀縣立高等女學校々友會	一五冊
井手 嘉吉君	九冊	佐賀縣立師範學校	一四〇冊
伊東 友吉君	一・二〇圓	私立佐賀實科高等女學校	三四冊
伊東 平藏君	一七冊	佐賀米穀取引所所員俱樂部	一〇冊
男庭 善之助君	一三冊	重松 金一君	〇・三〇圓
大坪 萬六君	五四冊	柴田 喜三君	〇・五〇圓
大坪 米吉君	〇・三〇圓	末次 袈裟吉君	一・〇〇圓
川浪 ツル子	三八冊	私立成美高等女學校	五六六冊
木下 龜次郎君	一五冊	副島 新作君	〇・三〇圓
熊谷 廣濟君	四〇冊	平 又市君	二冊
栗原 荒野君	一九冊	高塚 久治君	二冊
古賀 萬次郎君	一二四冊	田上 源太郎君	二・〇〇圓
特別會員		立石 定吉君	一冊
通常會員			

田中英太郎君	三〇〇圓	深川米一郎君	一〇〇圓
千綿萬三君	八冊	藤田末尚君	四三冊
富永安吉君	〇・五〇圓	古澤三郎君	一〇冊
中島彦藏君	一・二〇圓	松原町有志家	五冊
中島秀雄君	一一冊	松本淺一君	七六冊
中島善之君	八冊	牟田トシ子	一七冊
永田義彦君	五冊	森德太郎	二〇〇圓
永野茂平君	一〇〇圓	森永三郎君	〇・五〇圓
中宮秀松君	八冊	諸岡幸一君	〇・三〇圓
中村民五郎君	〇・三〇圓	山口亮一君	二一冊
西村旭市君	二二冊	山本乙枝君	一四冊
原文碩君	一五冊	横尾袈裟六君	一〇冊
秀島春一郎君	一・五〇圓	吉岡繁三君	一〇〇圓
百武儀六君	三冊	吉岡藤太夫君	三〇〇圓
深川喜次郎君	三〇〇圓	吉田久太郎君	四冊

通常會員
特別會員

佐賀郡

嘉瀬通俗圖書館 一七冊 七八冊
齋藤正雄君

中尾良吉君 七冊
本田稔君 五冊

三養基郡

中原尋常高等小學校職員一同 三・二五圓
三養基郡役所 二四五冊

小城郡

西村才次郎君 〇・八〇圓
前田綱雄君 四冊
村岡金四郎君 一〇〇圓

東松浦郡

生田德太郎君 二九冊
川添新三郎君 一四冊
唐谷島吉君 一八冊
唐津尋常高等小學校 一九冊
立川正男君 九冊
寺井祥雄君 六冊

杵島郡

志田松次君 一七冊
堤恭倫君 一一九冊
龍王村分會 一四冊
淵上照次君 二一冊
光武八郎君 一三冊
峰鐵次君 一冊
吉村鹽太郎君 一〇冊

藤津郡

帝國在郷軍人會

月 Month	第一門 書目. 事彙. 叢書 隨筆. 少年圖書 1.	第二門 神宗 2.
	Bibliography, Dictionary Miscellaneous Works & Child's Book	Theology and Religion
一月 January	1,763	46
二月 February	1,821	40
三月 March	2,201	32
四月 April	2,408	37
五月 May	2,690	51
六月 June	2,509	46
七月 July	2,237	36
八月 August	1,904	31
九月 September	1,851	42
十月 October	2,332	39
十一月 November	1,482	35
十二月 December	1,698	33
合計 Totals	24,896	4,76
一月平均 Monthly Average	2,074.67	397.0
百分比例 Percentage	14.26	2.7

終身特別會員 中津親義君

熊本縣

池松高 清君
岡富太郎君
倉崎喜作君
齋藤安八君
富永忠八君
中島三郎君
中西治三郎君

五冊
二〇冊
三三冊
一四冊
一冊
五冊
八冊

永松光一君
中村俊造君
西田七藏君
伯川孝左衛門君
濱町軍人分會
水頭幸太郎君
矢川開一君

五冊
三冊
一〇冊
一冊
六四冊
一冊
二冊

四〇

宮崎縣立圖書館

宮崎縣

一八六冊

鹿兒島縣

鹿兒島縣立圖書館

二一四冊

特別會員

片山信太郎君

二〇冊

貸附圖書分類表 (大正七年)

Table of the issue of Books in Reading Library (1918)

月 Month	第一門 書目. 事類叢書 隨筆. 少年圖書 1. Bibliography, Dictionary Miscellaneous Works & Child's Book	第二門 神宗 書教 2. Theology and Religion	第三門 哲學 附 3. Philosophy (East & West) Instruction.	第四門 法律. 政治 軍事 4. Law, Politice & Military science	第五門 社會. 經濟 財政. 教育等 5. Sociology, Political Economy, Finance and Education	第六門 文學 6. Literature and Philology	第七門 數學. 理學 工學. 醫學 7. Mathematics, Science, Engineering and Medicine	第八門 產業 (農工商業) 8. Industry (Agriculture, Technology & Commerce)	第九門 美術 9. Fine Arts and Arts	第十門 歷史. 傳記 地誌. 紀行 10. History, Biography, Geography and Travels	合計 Totals	百分比例 Percentage
一月 January	1,763	461	1,647	848	1,112	4,365	875	841	498	1,451	13,861	7.95
二月 February	1,821	406	1,097	874	1,047	4,277	911	861	489	1,385	13,228	7.58
三月 March	2,201	325	1,849	7,010	1,192	5,704	1,025	810	546	1,477	16,139	9.25
四月 April	2,408	371	1,698	862	1,160	4,519	838	748	460	1,452	14,516	8.32
五月 May	2,690	515	1,652	1,087	1,405	5,521	1,057	913	513	1,656	17,009	9.75
六月 June	2,509	468	1,454	964	1,347	6,280	1,244	865	567	1,942	17,640	10.10
七月 July	2,237	365	1,726	936	1,078	5,305	1,154	517	510	1,514	15,342	8.79
八月 August	1,904	311	1,490	966	1,172	5,479	954	742	509	1,326	14,853	8.51
九月 September	1,851	420	1,929	951	1,476	6,017	1,112	818	535	1,640	16,749	9.60
十月 October	2,332	391	1,114	778	1,339	5,289	1,370	592	448	1,492	15,145	8.68
十一月 November	1,482	334	601	551	906	3,044	718	482	416	1,064	9,598	5.50
十二月 December	1,698	338	1,302	410	767	3,430	646	497	324	997	10,409	5.97
合計 Totals	24,896	4,765	17,559	10,237	14,001	59,230	11,904	8,686	5,815	17,396	174,489	100.00
一月平均 Monthly Average	2,074.67	397.09	1,463.25	853.08	1,166.75	4,935.83	992.00	723.83	484.58	1,449.67	14,540.75	
百分比例 Percentage	14.26	2.73	10.06	5.89	8.02	33.94	6.82	4.98	3.33	9.97	100.00	

閱覽人員及圖書貸附表 (大正七年)

Table showing the Number of Visitors and Number of Books Read (1918)

		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計	一日平均	
		January	February	March	April	May	June	July	August	September	October	November	December	Totals	Daily Average	
圖書	開館日數 Number of Days Open	21	24	27	22	27	26	26	27	25	24	20	21	290		
	學生 Scholars	○	657	740	1,377	965	1,095	1,384	1,291	1,497	1,566	1,371	779	491	13,213	
		△	369	394	247	386	572	542	481	354	490	795	351	229	5,210	
		*	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	
		1,035	1,134	1,624	1,351	1,667	1,926	1,772	1,851	2,056	2,166	1,130	720	18,432	63.56	
	教育家、技術家 僧侶、牧師 Educationists, Artists, Priests and Pastors	○	54	54	72	52	76	114	155	164	111	96	57	39	1,044	
		△	5	—	6	227	119	82	151	149	100	147	107	97	1,190	
		*	1,384	1,170	1,066	1,048	1,314	1,206	780	456	1,179	952	632	599	11,786	
		1,443	1,224	1,144	1,327	1,509	1,402	1,080	769	1,390	1,195	796	735	14,020	48.34	
	官公吏人 軍 Officers and Soldiers	○	333	366	390	269	377	518	513	505	496	417	275	213	4,671	
		△	10	17	19	14	25	11	55	28	62	35	14	31	321	
		*	1,697	672	616	727	203	215	125	224	152	109	102	106	4,948	
		2,040	1,055	1,025	1,010	605	744	693	757	710	551	391	350	9,940	34.28	
	實業家 Business men	○	504	649	831	634	917	867	838	969	919	855	549	373	8,906	
		△	32	42	54	62	415	353	310	179	305	271	175	202	2,400	
*		2,385	2,890	3,968	3,541	2,802	2,079	2,737	2,496	3,470	2,002	1,504	2,559	32,433		
	2,921	3,581	4,853	4,237	4,134	3,299	3,885	3,644	4,694	3,128	2,228	3,134	43,739	150.82		
無職業 Without occupation	○	264	352	540	472	502	693	632	773	520	485	253	221	5,707		
	△	6	24	32	128	71	39	57	40	35	18	27	19	496		
	*	197	274	234	135	566	134	106	108	189	133	113	96	2,285		
	467	650	806	735	1,139	866	795	921	744	636	393	336	8,488	29.27		
婦人 Women	○	71	112	160	100	126	148	174	135	140	106	107	86	1,465		
	△	—	—	1	10	14	10	31	13	35	12	10	194	330		
	*	218	179	313	141	238	455	245	143	313	237	168	188	2,838		
	289	291	474	251	378	613	450	291	488	355	285	468	4,633	15.97		
少年 Children	○	139	229	440	231	346	330	365	398	277	240	131	83	3,209		
	△	110	91	146	513	380	300	607	354	389	513	277	938	4,618		
	*	2,153	1,605	1,168	1,771	2,086	1,207	1,135	499	1,068	1,438	1,087	1,542	16,759		
	2,402	1,925	1,754	2,515	2,812	1,837	2,107	1,251	1,734	2,191	1,495	2,563	24,586	84.78		
合計 Totals	○	2,022	2,502	3,810	2,723	3,439	4,054	3,968	4,441	4,029	3,570	2,151	1,506	38,215		
	△	532	568	505	1,340	1,596	1,337	1,692	1,117	1,416	1,791	961	1,710	14,565		
	*	8,043	6,790	7,365	7,363	7,209	5,296	5,128	3,926	6,371	4,871	3,606	5,090	71,058		
	10,597	9,860	11,680	11,426	12,244	10,687	10,788	9,484	11,816	10,232	6,718	8,306	123,838	427.02		
一日平均 Daily Average		504.61	410.83	432.59	519.36	453.47	411.03	414.92	351.25	472.64	426.33	335.90	395.52	—		
新聞 News Papers	合計 Totals	○	2,520	2,573	2,885	2,427	3,264	2,989	3,102	3,797	3,330	3,129	2,067	1,820	33,903	
		△	417	399	377	349	618	552	457	395	533	490	197	216	5,000	
	*	2,937	2,972	3,262	2,776	3,882	3,541	3,559	4,192	3,863	3,619	2,264	2,036	38,903	134.14	
一日平均 Daily Average		139.85	123.83	120.81	126.18	143.77	136.19	136.88	155.25	154.45	159.12	118.20	96.95	—		
貸付圖書數 Number of Books Read	合計 Totals		13,861	13,228	16,139	14,516	17,009	17,640	15,342	14,853	16,749	15,145	9,598	10,409	174,489	

○ 本館 Central Library.
 △ 分館 Branch Library.
 * 巡回文庫 Circulating Library.

